

4. 河川下水道対策に関する事項

計画区域においては、一級水系円山川の国土交通大臣指定外区間を管理し河川対策を実施する国と、一級水系円山川の同大臣指定区間及び二級水系を管理し河川対策を実施する県、内水対策を所管し下水道対策（雨水）を実施する市町が、効果的に連携しながら治水対策に取り組む。

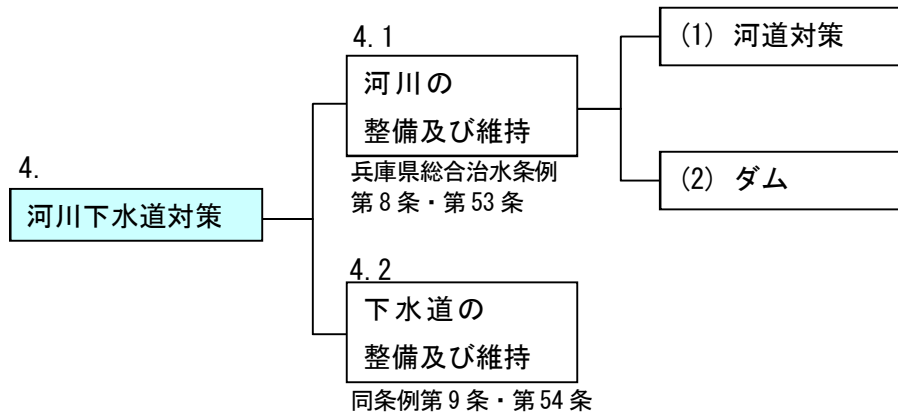


図 4.0.1 兵庫県総合治水条例による河川下水道対策の体系

4.1 河川の整備及び維持

(1) 河道対策

国は、円山川水系河川整備計画（国管理区間）に定めるとおり、河川景観と河川環境に配慮しながら、国管理区間の整備（表 4.1.1、図 4.1.1）を行うとともに、洪水等に対して必要な治水機能が発揮されるよう適切な維持管理を行う。

県は、河川環境に配慮しながら、「円山川水系上流圏域河川整備計画」、「円山川水系出石川圏域河川整備計画」、「香住谷川水系河川整備計画」、「矢田川水系河川整備計画」、「岸田川水系河川整備計画」に位置づけられた整備内容（表 4.1.2～表 4.1.5、図 4.1.2～図 4.1.3）のうち、本計画期間内に実施可能な整備を着実に実施するとともに、その他県が管理する河川も含め、洪水時に堤防、護岸、排水機場等の河川管理施設が十分に機能するように、適切な維持管理を行う。なお、円山川水系における河川整備については、上下流バランスを考慮する必要があるため、国による整備との連携を図りながら実施する。

市町は、それぞれが管理する準用河川や普通河川等について、適切な維持管理を行う。

また、河川管理者は、土砂、流木、樹木等によって川の流れが阻害されていないか平素から留意し、住民からの情報提供や河川の巡視によって、治水上問題があると判断した場合には速やかにその除去等を行い、洪水時に河川の疎通機能を十分に発揮できるよう河道断面の維持に努める。

表 4.1.1 円山川水系河川整備計画（国管理区間）の工事箇所

河川名	上流端	下流端	区間延長 (km)
円山川	左岸：豊岡市日高町浅倉字茶園 1024 番 1 地先 右岸：豊岡市日高赤崎字開キ 1046 番地先	河口	27.7
出石川	左岸：豊岡市出石町鍛冶屋字五反田 377 番 1 地先 右岸：豊岡市出石町小人字山椒畑 182 番地先	円山川の 合流点まで	8.7
奈佐川	左岸：豊岡市庄字堂ヶ瀬 7 番 1 地先 右岸：豊岡市宮井字カйна谷 1294 番地先	円山川の 合流点まで	4.1
合計			40.5

（円山川水系河川整備計画（国管理区間）より）

表 4.1.2 円山川水系上流圏域県管理区間の工事箇所

河川名	No	場 所	区間延長 (m)	主な整備内容
円山川	①	小田井堰上流～舞狂橋下流	約 1,400	護岸等
	②	米地橋上流～寺谷橋下流	約 5,700	築堤・護岸等
	③	朝来橋上流～神子畑川合流点	約 9,100	掘削・護岸・橋梁架替・井 堰改築等
八木川	①	円山川合流点～JR 八木川橋梁上流	約 250	築堤・掘削・護岸等

表 4.1.3 香住谷川水系の工事箇所

河川名	No	場 所	区間延長 (m)	主な整備内容
香住谷川	①	河口～JR 山陰本線付近	約 1,100	河床掘削・護岸改修・ 橋梁架替 等

表 4.1.4 矢田川水系の工事箇所

河川名	No	場 所	区間延長 (m)	主な整備内容
矢田川	①	河 口 <small>うしろやまたにがわ</small> ～後山谷川合流点付近	約 12,200	河道拡幅・築堤・護岸・掘削・背水対策・橋梁改修・堰改築 等

表 4.1.5 岸田川水系の工事箇所

河川名	No	場 所	区間延長 (m)	主な整備内容
岸田川	①	段川及び三谷山川の合流点	約 160	築堤、掘削等
	②	河 口～出合橋の区間	約 9,300	堤防の腹付け、嵩上げ、河床掘削等
味原川	①	JR 山陰本線橋梁上流約 300m 地点～上流約 560m の区間及び味原川本川合流点	約 560	河床掘削、河道拡幅、築堤、床止工設置、橋梁架替、水門設置等

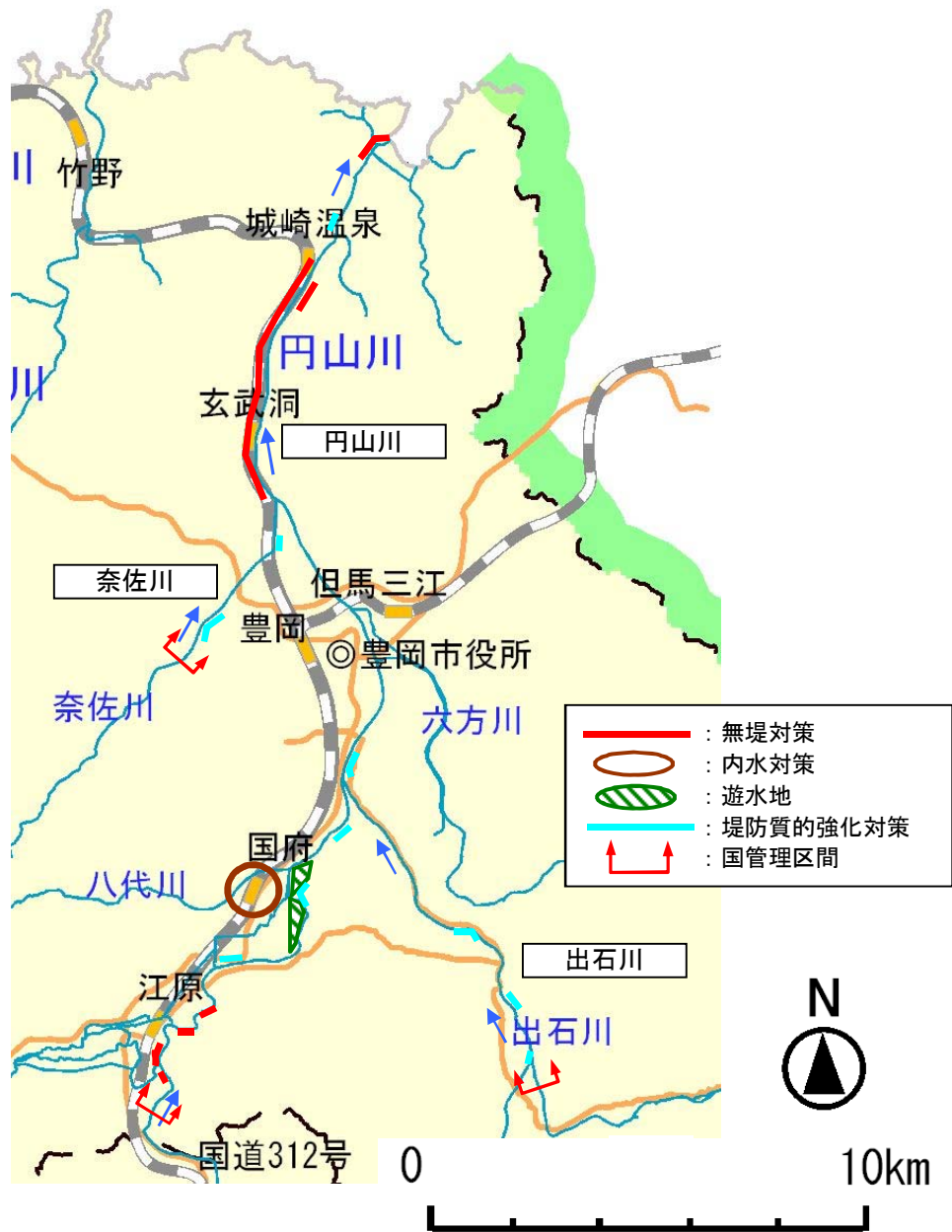


図 4.1.1 河川整備計画による対策箇所（円山川水系河川整備計画（国管理区間）より）

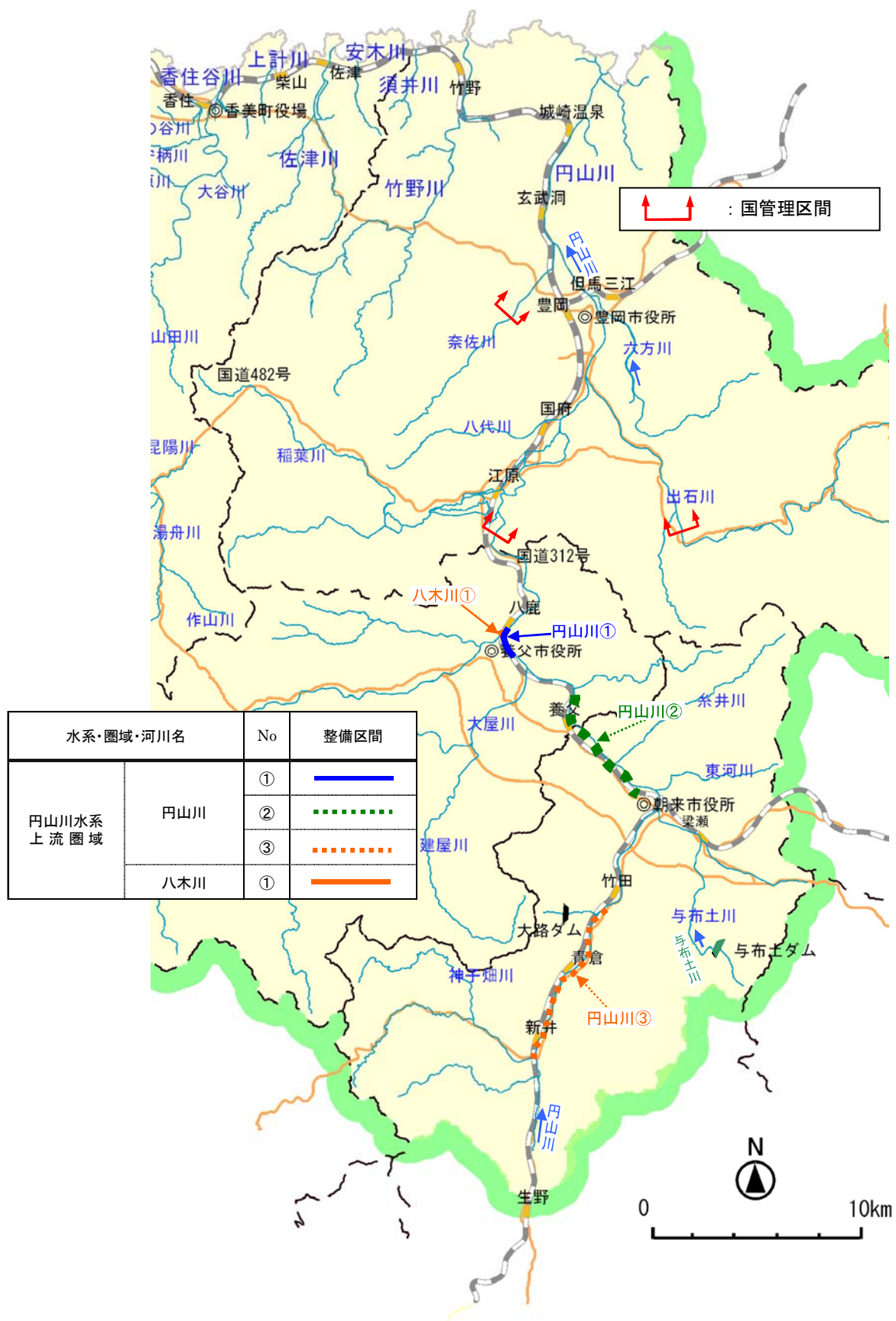
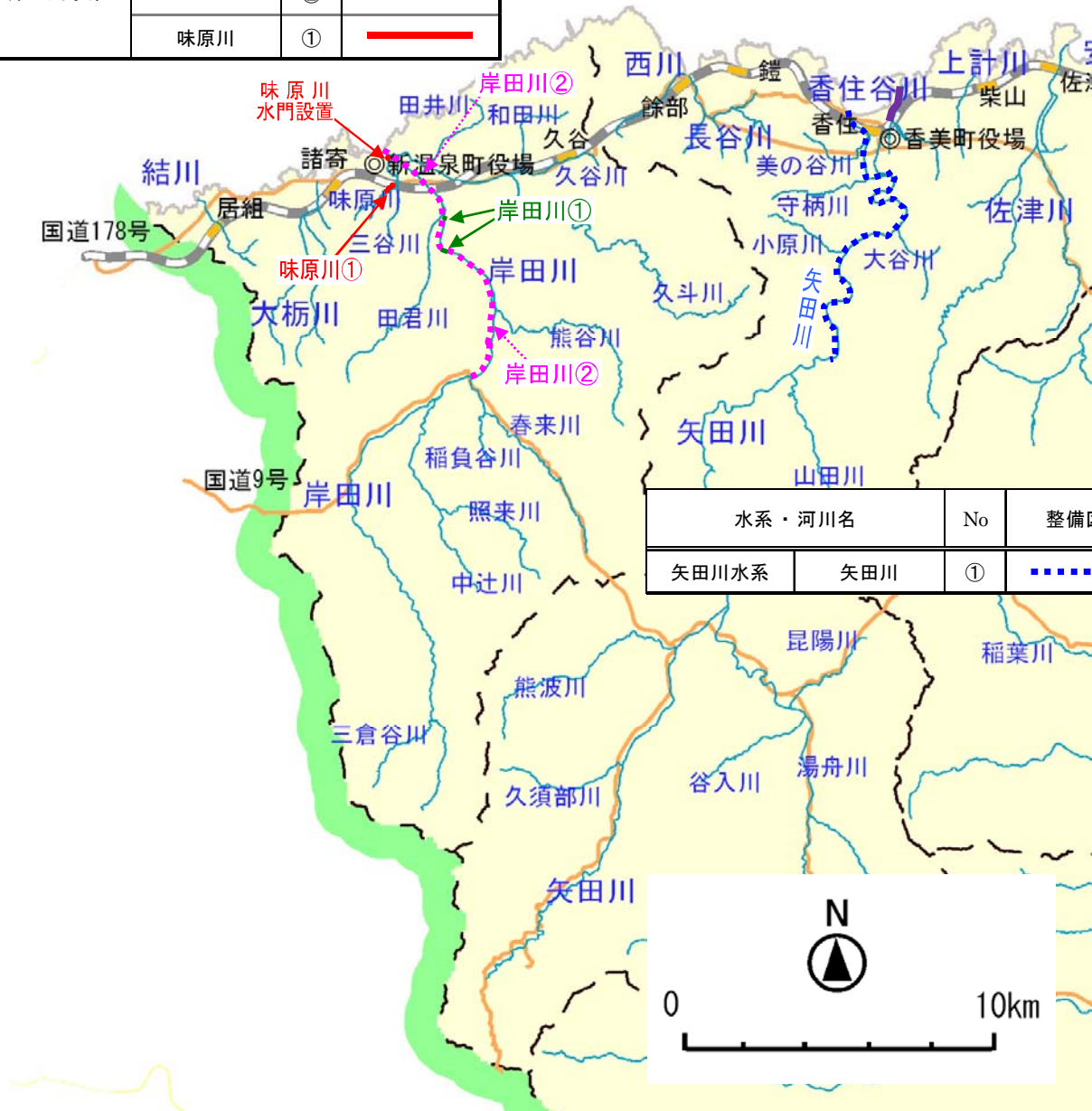


図 4.1.2 河川整備計画による対策箇所（円山川水系の県管理区間）

水系・河川名		No	整備区間
岸田川水系	岸田川	①	
		②	
	味原川	①	

水系・河川名		No	整備区間
香住谷川水系	香住谷川	①	



水系・河川名		No	整備区間
矢田川水系	矢田川	①	

図 4.1.3 河川整備計画による対策箇所（円山川水系以外の県管理区間）

(2) ダム

県は、計画区域内において、県が管理する治水目的を有するダム（但東ダム、大路ダム、与布土ダム）について、治水効果が確実に発揮されるよう、適切な運用、管理を行う。

表 4.1.6 計画区域における洪水調節容量を有するダム諸元一覧

ダム名	大路ダム	但東ダム	与布土ダム
竣工年	1998（平成10）年度	2006（平成18）年度	2014（平成26）年度
河川名	円山川水系大路川	円山川水系横谷川	円山川水系与布土川
所在地	朝来市和田山町	豊岡市但東町	朝来市山東町
集水面積(km ²)	3.10	1.34	5.10
ダム型式	重力式コンクリート	重力式コンクリート	重力式コンクリート
堤高(m)	32.1	25.7	54.4
目的	洪水調節、水道用水の確保、既得取水の安定化、河川環境の保全等	洪水調節、水道用水の確保、既得取水の安定化、河川環境の保全等	洪水調節、水道用水の確保、既得取水の安定化、河川環境の保全等
総貯水容量(千 m ³)	375	470	1,080



図 4.1.4 大路ダム貯水容量配分図



図 4.1.5 但東ダム貯水容量配分図



図 4.1.6 与布土ダム貯水容量配分図

(3) 遊水地

2013（平成 25）年 3 月に策定された「円山川水系河川整備計画（国管理区間）」によれば、豊岡市街地の直上流の河道内に存在する農地や運動公園敷を中郷遊水地として整備し、円山川下流部や豊岡市街地の河道水位の低減を図ることとしている。なお、河道内遊水地である中郷遊水地の整備にあたっては、低水路の自然環境を保全しつつ洪水調節容量を確保し、かつ、洪水調節後に自然排水が可能となるように概ね本川平水位の高さまで掘削することとしている。

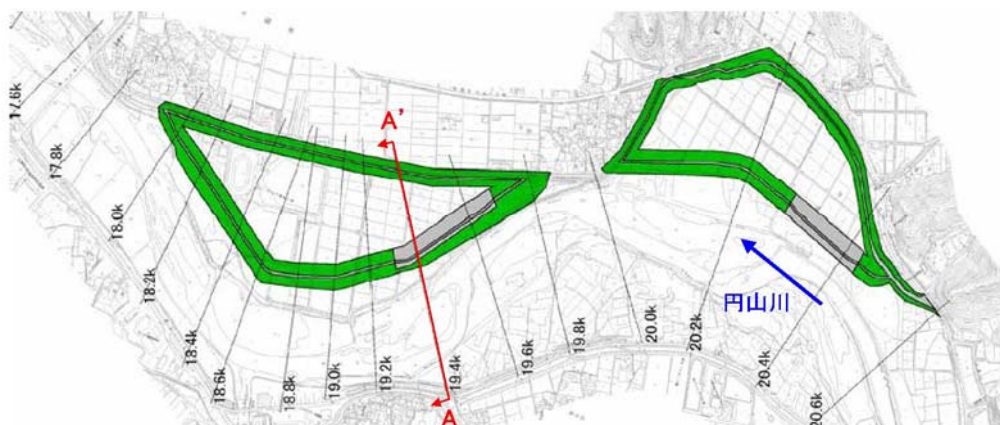


図 4.1.7 遊水地平面図

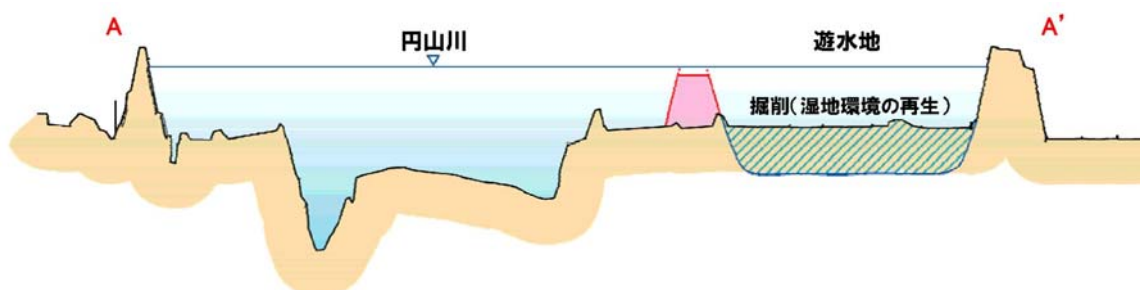


図 4.1.8 遊水地横断面図

表 4.1.7 中郷遊水地諸元

遊水地諸元	上流遊水地	下流遊水地
貯水面積	約 20 ha	約 22 ha
計画貯水位	TP+11.48m	TP+10.85m
洪水調節容量	約 120 万 m ³	約 150 万 m ³

4.2 下水道の整備及び維持

計画区域では、すべての市町において公共下水道、特定環境保全公共下水道計画が策定されている（整備途上含む）。市町は、下水道計画に基づき、整備を推進するとともに、管きよやポンプ施設等の適切な維持管理を行う。

併せて、内水被害が頻発する地域では、雨水排水施設等の整備に要する期間及び効果を勘案し、貯留管や貯水槽など雨水貯留施設等を効果的に組み合わせた施策を検討するなどの取組を進める。

表 4.2.1 計画区域における市町の公共・特環下水道事業（雨水計画）の概要

市町名	下水道の種別	計画降雨	雨水排水面積 (計画合計)	完了 予定年度
豊岡市	公共下水道 特定環境保全公共下水道	40.0～46.4mm/hr (年超過確率 1/5～1/10の規模)	2262.4 ha	未定
養父市	公共下水道 特定環境保全公共下水道	44mm/hr (年超過確率 1/7 の規模)	486.0ha	未定
朝来市	公共下水道 特定環境保全公共下水道	45.4mm/hr (年超過確率 1/10 の規模)	47.0ha	未定
香美町	公共下水道 特定環境保全公共下水道	45mm/hr (年超過確率 1/10 の規模)	230.0ha	未定
新温泉町	公共下水道 特定環境保全公共下水道	40mm/hr (年超過確率 1/10 の規模)	12.0ha	未定

出典：各市町へのヒアリング（平成 25 年 8 月）結果による

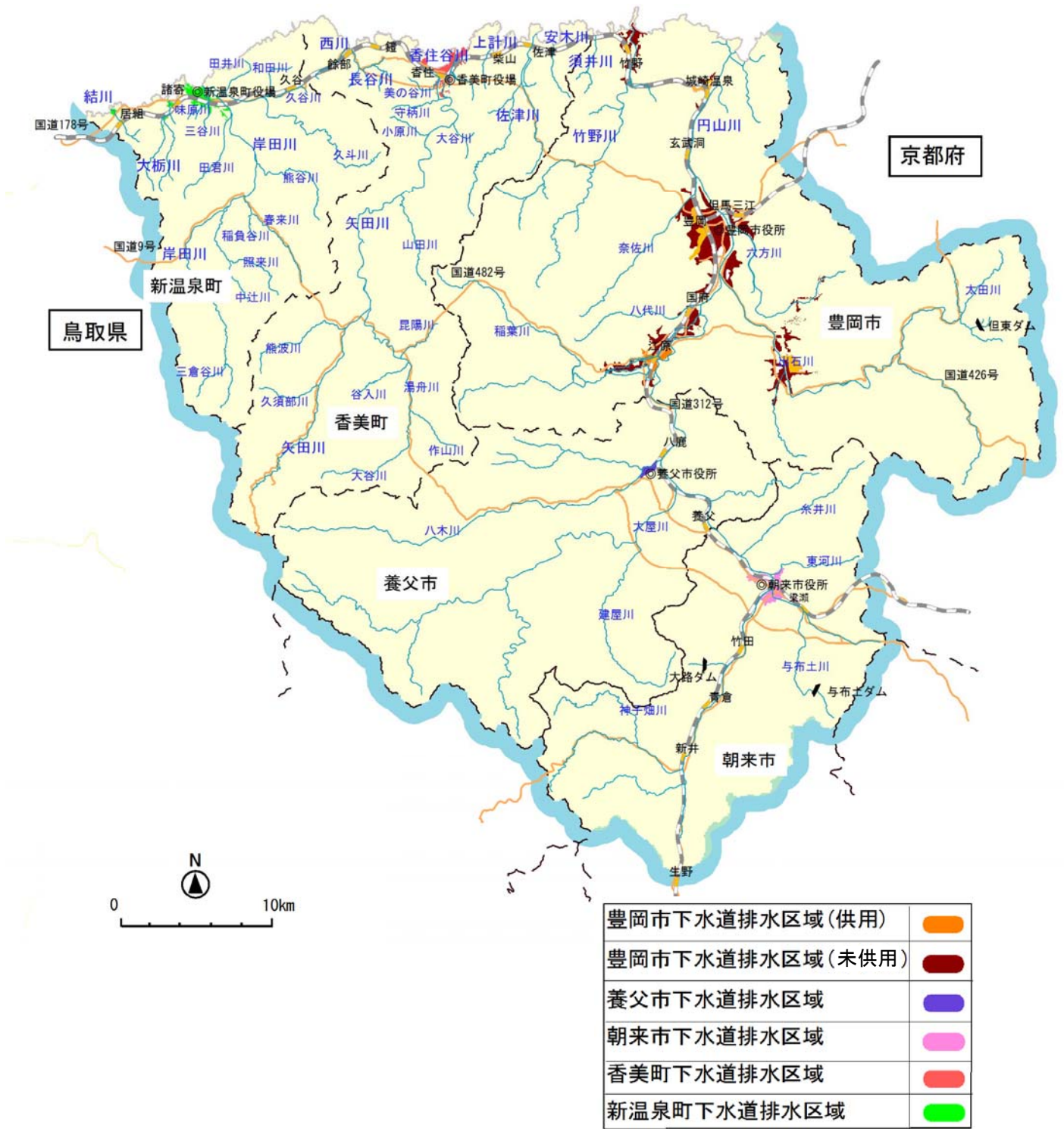


図 4.2.1 但馬地域における下水道（雨水）排水整備予定区域図